



V型低周波吸音材の建築基準法「不燃材料」認定取得

Certification of Fire Resistant Material for Architecture about Low-frequency Sound Absorber Type V

1. 概要

当社の低周波吸音材は、鉄道・車両分野等に使用される低発塵タイプのR型と主に建築・機械設備等に使用されるV型がある。これまでの吸音材にはない低周波帯域において極めて高い吸音率を有した材料で、2006年より販売を開始した。機械設備、電気設備の騒音対策をはじめ音響分野でも高い評価を得てきた。

今回、建築分野からの要望に応えるため、建築不燃認定の取得に向けた開発に積極的に取り組み、吸音率を保持しながら特殊吸音皮膜の改善に成功した。

低周波帯域の吸音特性に特化したF25V(図1)と高周波帯域まで吸音特性が良い広帯域用25F25V(図2)について建築基準法の「不燃材料」の認定を取得した。これにより低周波吸音のニーズに本格的に応えることができる。

2. 用途

建築：スタジオ、ホール 他
 設備機器：トランス、空調機器、ダクト 他
 産業機器：破碎機、工作機械 他
 各種機器の内装材：電力機器、防音ボックス 他
 車両：エンジンルーム
 ハイテク機器：電子顕微鏡、半導体検査装置 他

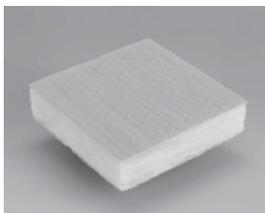


図1 低周波吸音材 F25V (低周波用)



図2 低周波吸音材 25F25V (広帯域用)

表1 各種低周波吸音材の構成

型番	構成
F25V	基本製品
F50V	F25VのGW側にGW25tを重ねた構造
F100V	F25VのGW側にGW25tを3枚重ねた構造
25F25V	F25Vの吸音皮膜側にGW25tを重ねた構造
25F75V	25F25VのGW側にGW25tを2枚重ねた構造

GW：グラスウール

3. 特長

- 1) 中・低周波音の吸音性が優れている(図3)。吸音効果は膜状吸音体の共鳴原理を応用したもので、音のエネルギーを膜の振動に変換することで、特定の周波数、特に300 Hz以下の中・低周波数領域で高い吸音効果を発揮する。
- 2) 設計が容易である。有孔板のように難しい共鳴周波数の算出は不要である。
- 3) 施工が容易である。壁、鉄板に貼るだけの簡単施工である。軽量で取り扱いも容易で自由なサイズに切断可能である。
- 4) 不燃材料認定取得
 F25V(低周波用)：認定番号「NM-3741」
 25F25V(広帯域用)：認定番号「NM-3680」

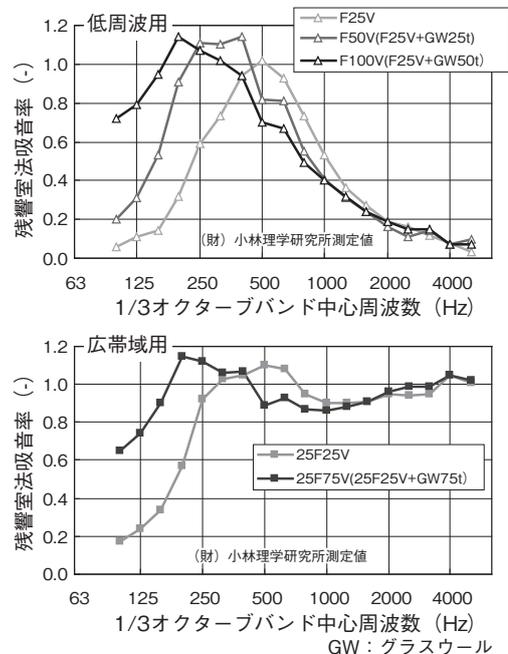


図3 吸音特性

問合せ先：〒105-6012 東京都港区虎ノ門4-3-1(城山トラストタワー)
 昭和電線デバイステクノロジー(株)
 営業統括部 制振制音営業課
 電話(03)5404-6983 FAX(03)3436-2587